

令和3年度

関係人口創出・拡大のための
中間支援組織の提案型モデル事業

成果報告会

団体名：株式会社トビムシ

1.事業概要・スキーム図

地域の学びの場「山とまちづくり学校」による山とまちを結ぶ共創人口創出事業

<事業概要>

企業、行政、住民との交流や山の恵みと街並みに宿る歴史・文化・暮らし・技術を活かした体験を通して、山とまちの関係や地域の実情を知り、地域課題解決を考える実践の学びの場として「山とまちづくり学校」を開講し、共創人口創出を目指す

<実施主体>

株式会社トビムシ
株式会社萩・森倫館
株式会社八女流

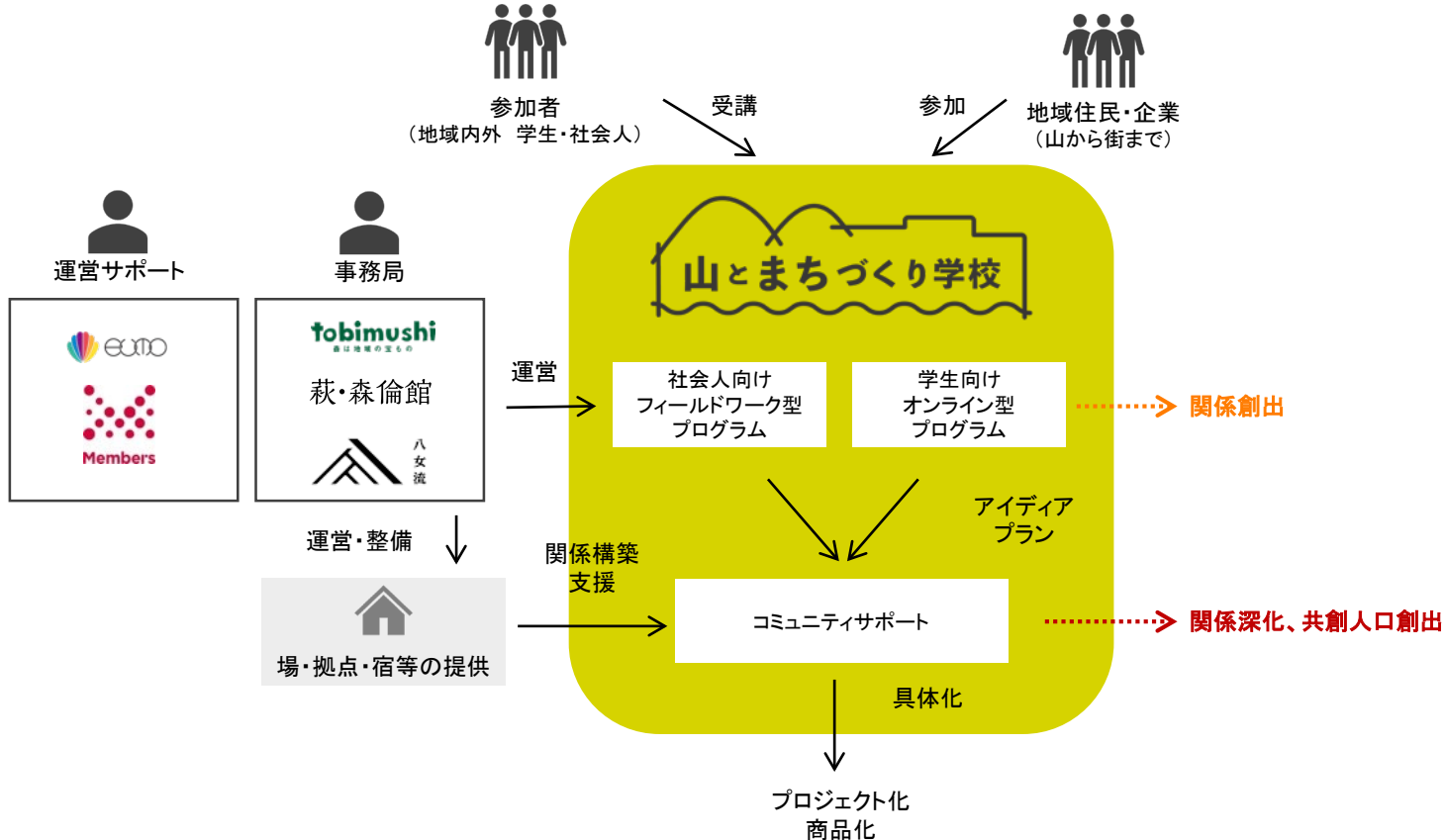
<サポート>

株式会社eumo
株式会社メンバーズ

<実施地域>

山口県萩市
福岡県八女市

<事業スキーム>



山口県萩市

社会人向けフィールドワーク型プログラム

【テーマ】

地域住民やローカルプレーヤーのリアルな声を聞きながら、維持管理者の不在や物件老朽化などが原因で町並みの保存が困難になっている浜崎伝統的建造物群保存地区内の「空き家」の事業プロジェクト案を考える。

【狙い】

- ・ 地域課題解決という実践の場を設けることで、参加者に地域にダイブする関わりしるを提供する
- ・ 一方、地域住民には、参加者との関わりから新たな視点でまちづくりを進める機会を提供する。これがきっかけとなり、地域活動が活発化するなど寄与することを期待する

■Day1 萩市の課題と魅力を学ぼう

日程：2021年12月18日～19日（一泊二日）

参加者：5名

関係地域事業者：6事業者

内容：地域との関わりへの入り口として、山から街までの歴史と魅力を講座・街歩きを通じて紹介。

【参加者コメント】

- ・ 少人数で意見の交換、対話が生まれるような時間を持てたことが、とても良かったです。
- ・ 地元の方々とプログラム以外では何も交流していない自分が、果たして町に、人々に、寄り添った提案が出来るのか？そんな思いが何度も頭をよぎりました。

一日目：萩市の紹介・魅力の洗い出し



二日目：課題の深堀り・問いの設定



■Day2 事業アイデアを考えよう

日程：2022年1月19日 【オンライン】

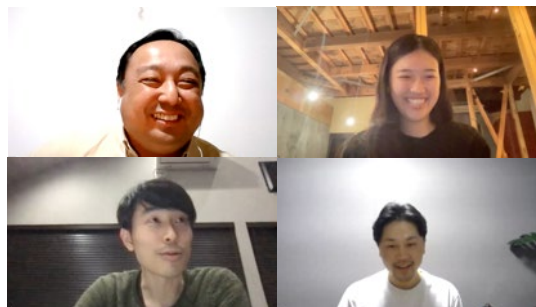
参加者：5名

内容：フィールドワークの振り返りと事業アイデア創出に向けた思考の整理

【関わりの広がりポイント】

- ・参加者から追加で深掘りをしたい場所、会いたい人の候補案があがった
- ・プログラム外で独自に地域との交流機会を設けた参加者がいた
- ・地域住民へのアンケート調査を参加者が自発的に企画・実施した

オンラインミーティング：想いの共有・アクションプランの検討



■Day3 アイディアプランを伝えよう

日程：2022年2月19日～20日（一泊二日）

参加者：4名

関係地域事業者：8事業者

内容：地域住民やローカルプレーヤーとの対話の場の設定。地域関係者へのアイデア共有。

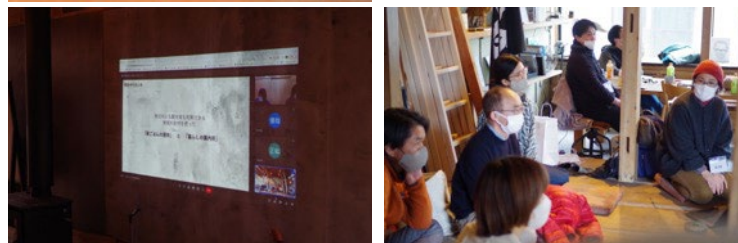
【参加者コメント】

- ・短い時間の中で、多くの方と交流が出来たので情報収集としても、考えを深める意味でも大変助かりました。
- ・お手伝いできることなどあれば継続して関わっていきたい。
- ・また自分が住むまちとコラボ出来ることがあったらやってみたい。
- ・萩の街並みや歴史深さが良かったので、それらを残すための取り組みに関わりたいと思っています。

一日目：地域住民との交流深化



二日目：事業プロジェクトアイデアの発表



福岡県八女市

学生向けオンライン講座プログラム・アイデアコンテスト

【テーマ】

社会課題解決に取り組む地域のプレーヤーのリアルな声を聞き、「木」の新しい価値や可能性」「森が生み出す新しいつながり」をワークショップを通じて発見し、地域の活性化につながる新しいビジネス案を一緒に考える。

【狙い】

- ・社会課題や地域課題、地域活性化に興味を持って間もない方や、ビジネスコンテストに初めて挑戦する方も最初の一步として参加し、アイデアを創出できる機会、フィールドワークを通して地域にダイブする関わりしろを提供する。社会課題が山積した世の中において、デザイン思考を以て解決に向き合うことで心豊かな社会の創造を目指し、そのような人材育成輩出に取り組む。

■Program 1

オンライン講座プログラム

「木で地域と経済を活かすには」

日程：

- < 1日目 > 2021年11月4日(木) 【講義】
- < 2日目 > 2021年11月11日(木)
- < 3日目 > 2021年11月18日(木)
- < 4日目 > 2021年12月2日(木) 【プレゼン・講評】

参加者：30名

内容：ソーシャルビジネスに関わる講義と2日間のワークショップを通じて考えたアイデアを発表・講評・フィードバックを行う

講義内容、学生からのプレゼン内容



【参加者コメント】

- ・ 地域、大学、年齢が異なるたくさんの人と林業をテーマにコミュニケーションができてとても有意義だった。
- ・ 未来を自分の手で創っていくなんて、妄想の世界だと思っていましたが、同じ志を持った仲間と出会い、話していく中で、だんだんと現実味を帯びてきて、もしかしたら協力すれば理想の未来像を実現できる気がしました。
- ・ 自分のアイデアの他にそれに共感してくれる仲間集めが重要だと思った。そのため、さまざまなバックグラウンドを持つ大人や同じ世代の人と繋がっていく必要があると思った。

■Program 2

アイデアコンテスト

「福岡県八女市の森が生み出す新しいつながりのカタチを考えよう」

日程：

<フィールドワーク>2022年1月19日（水）

<話題提供>2022年2月22日（火）

<コンテスト>2022年3月1日（火）、3月5日（土）

<コンテスト結果発表>2022年3月12日（土）

参加者：51名

関係地域事業者：1事業者

内容：話題提供、コンテストに向けたアイデア創出ワークショップ、結果発表

フィールドワークの様子



事業成果・KPI達成状況

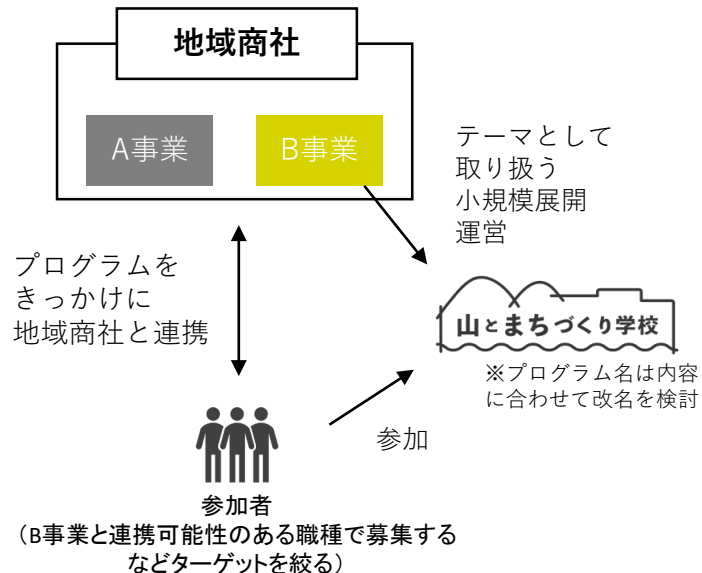
	項目	目標値	達成状況	備考
1	参加者数	14人	達成	・現地フィールドワーク参加者数 9人 ・オンラインプログラム参加者数 81人
2	継続的参加者数	5人	未達成	萩市3人、八女市0人
3	プロジェクト発足数	2体制	未達成	0体制
4	ふるさと返礼品登録数	1品	未達成	0品

参考指標

	項目	目標値	達成状況	備考
5	関係人口受け入れ事業者数	—	—	15事業者
6	提案された事業アイデア数	—	—	萩 5提案、八女 22提案

3.自立化・自走化の検討

項目	検討内容
実施体制	・ 地域商社（株式会社萩・森倫館、八女流）、対象地域の自治体とともに
プログラム	・ 今回の実績をもとに、自治体や金融機関の支援を視野にいれつつ、地域商社における主たる事業に関連・波及する内容を取扱い、当面は小規模展開し運営費をまかなう
運営費用	・ 地域商社に関連する地域課題をテーマとすることで運営費をまかなう
課題と対策	・ 継続的な運営体制の確保、関係者の共感・協働訴求



4.他地域への横展開の可能性の検討

項目	検討内容
事業スキーム・プログラム	・ まずは初動地域の自走化最優先 ・ 各地の事業内容に関連したテーマにおいて、オンラインを併用したアイデア提案型によるプログラムの実施
連携先・地域	・ トビムシのグループ会社のある地域 ・ トビムシのグループ会社、当該地域の自治体
課題と対策	・ スキームのブラッシュアップ連携先地域の状況把握・展開可能性の深堀り

